

経営目標 教育目標	【学校経営目標】 『知・徳・体』の基礎・基本の定着を図り、『評価と公開』による学校教育に対する信頼性と満足度の向上を図る。 【学校教育目標】 確かな学力と豊かな心をもち、よりよい社会の形成者として未来を切り拓く志と意欲にあふれた生徒の育成	めざす 生徒像	『夢・実現に向けて高い志をもち、絶えず努力し続ける生徒』 ・自ら意欲的に学習に取り組み、自らの未来に夢を抱きながら努力し続ける生徒 ・道徳、特別活動、部活動に主体的に取り組み、マナーとルールを重んじる生徒 ・体を動かすことをいとわない生徒 ・神石高原中学校の生徒として誇りをもつ生徒 生徒会目標「創見」
--------------	--	------------	---

評価計画				自己評価						学校関係者評価					
中期経営 目標	短期経営目標	重点	目標達成の方策 (具体的な取組内容)	評価項目・指標	目標 値	時 期	達 成 値	評 価	達成状況	改善方策	担 当 者	評価			コメント ○=評価、●=課題
												イ	ロ	ハ	
I 「知」の基礎・基本の充実	① 生徒が主体的に学ぶ授業づくり	1	○基礎的・基本的な知識・技能を活用し個人思考や集団思考する際に、積極的に書く活動を取り入れた授業づくりを進める。 ・発問・指示の工夫をする。(教師) ・自分の考えや理由・根拠を書く。(生徒) ・自分の学習状況を的確に把握するための振り返りをする。(生徒→なるほどノート)	・年間で1本以上のレポートの作成に取り組みせ、完成した生徒の割合を90%以上にする。	90%	中間	100%	A	1学期から夏休み、2学期を通して、一人1本以上のレポート作成に取り組みせ完成させた。NIEとの関連で新聞の作成を行い応募することができた。また、文化祭に展示し多くの参観者に見せることができた。	「なるほどノート」の活用方法をさらに工夫し、授業と家庭学習の充実に力を注ぐ。各教科担当による「なるほどノート」の記入状況の把握を行う。	豊田・楠間・池田・神田	○			○今後も基礎・基本を重視しつつ、主体的な学びを取り入れた授業展開を行って下さい。 ○NIE活動の成果もさらに表れてくることを期待します。 ○レポートについては、任意参加でも良いので次の課題を与え、100%以上を目指してはどうか。 ●レポートの書き方の指導はどう実施したか。 ●自分がわからないところを「なるほど」で見つめ直す、という取り組みはできないか。
						最終	100%	A	1学期から夏休み、2学期を通して、一人1本以上のレポート作成に取り組みせ完成させた。NIEとの関連で新聞の作成を行い応募することができた。また、社会科・理科・技/家・英語の教科などでテーマ別にレポートを完成させた。	「なるほどノート」の活用について2学期末に回収し記入状況を点検した。一人ひとりに付箋でコメントを記入し記入についてアドバイスした。レポートの書き方について資料を作成・指導した。					
	② 小中高連携の推進	4	⑦中学校が軸となって学力向上のための小中高合同授業研究会を実施する。 ⑧英語科において、油木高校との交流授業を実施する。	・小中高合同授業研究会を年4回以上実施する。 ・中高連携して英語の技能向上に取り組み、中学校では3年生時点の英検3級取得者を50%以上とする。	100%	中間	75%	C	5月新1年生授業(理科)、10月小6授業・部活動体験、11月2年道徳授業を実施した。したがって、3/4=75%。	新年度入学に向け、3月に各小学校で6年生の授業参観を実施する。	江草・赤木	○			○全国学力テストの通過率が示すように、町教育委員会の指導・助言のもと、上手に授業方針・指導が実施されている。 ●数学科の下位層の底上げにどう取り組むか。 ○英語授業の指導法・内容について、中高教員が時間をかけて話し合い、さらに有意義な連携授業となるよう取り組みたい。 ●3年生は実力は伸びていると思うが、秋以降受検が少なくなる。これをどう改善するか。
						最終	100%	A	5月新1年生授業(理科)、10月小6授業・部活動体験、11月2年道徳授業を実施した。さらに、2月に校区内の3小学校で6年生の授業参観を行った。したがって、4/4=100%。	本年度は体育館改修工事のため小6授業・部活動体験を同日に行ったが、来年度は別日に分け体験を充実させる。					
		2	○生徒会スローガン「創見」を掲げ、達成できるよう生徒が自主的に動き、生徒自身が創り上げる学校行事になるよう、見通しをもって行事計画を立て、生徒が自分の目標を持って行事に臨むよう取り組む。	自分自身の目標を持って行事に臨むことができた。/自分の目標を達成できた。(生徒アンケート)の肯定的回答率を90%にする。	90%	中間	99%	A	体育大会肯定99%、文化祭肯定99%どちらの行事も肯定的な生徒の回答が多かった。2、3年生の肯定度は高くリーダー学年としての自覚が見られた。	スケジュールを把握し、見通しを持っての取り組みを仕組む。	佐伯・松井・大元	○			○中学時代はできた“大きい声の挨拶、校歌斉唱、身だしなみ”等、自主・自律が正しい方向に進むよう、高校の努力が強く必要であると感じます。 ●委員会の時間の保障等を行い取り組んだ成果が、生徒の動きに現れていると感じた。自分の取り組みを、「読むこと・書くこと」の強化に繋げてほしい。
						最終	97%	A	生徒アンケート(体育大会、文化祭99%)生徒会引継後、3年生を送る会を実施、準備・発表に主体的に取り組んだ(94%)	生徒会本部、各委員会等生徒主体の活動を次年度も大切にしていこう。					
III 「体」の基礎・基本の充実	④生活習慣の定着を図る	3	○生活3点固定(就寝、起床、学習開始時刻)を図る。 ・目標を持って取り組ませる。	生徒に、生活習慣アンケートを行い、達成率を80%以上とする。	80%	中間	92%	A	1学期87%に引き続き、2学期92%で肯定的評価は向上している。1学期より2学期が特に早寝早起きに関して規則正しく生活しようとする生徒が増えている。	3点固定に関わらず、歯ブラシの持参を伝え、1日3回歯磨きが定着することに向けて声かけをする。	横尾・廣田・大元	○			○“やまぼうし”は良い内容の学校通信です。生徒の実態を示す数値をワンポイントで紹介すると、更に100%に近づくと感じます。 ●新入生を迎え、新年度の生徒のメンバーで改めて学習・生活習慣の定着に向けて、どう進めていくか更なる取組を期待する。
						最終	97%	A	食事マナーの定着を図り学期に1回食事マナー強化月間を設定して取り組んだ。80%に達する生徒を80%以上にするという目標について2学期は93%の達成値だったが3学期は97%に達した。年度初めに比べきれいに食べきるや感謝の気持ちを持って食事ができる生徒が増えた。	定着していない生徒が固定化する傾向がある。家庭との連携を取りながら個別指導を継続していく必要がある。					

【自己評価 評価基準】
A: 100% ≤ (目標達成)
B: 80% ≤ (ほぼ達成) < 100%
C: 60% ≤ (もう少し) < 80% D: (できていない) < 60%

【学校関係者評価】
イ: 自己評価は適正である。
ロ: 自己評価は適正でない。
ハ: わからない。